

広報 おおの



平成18年（2006年）

No. 735



昔の暮らし教えて
(富田小児童が世代間交流)

特集

雪の備えは大丈夫？

- P6 年末年始の市の業務
- P8 市政功労者表彰
- P9 保育園・公立幼稚園の入園案内 など

12月号

「冬、将軍」到来に備えよう

十二月一日から七日は「雪に備える週間」です。今年もまた「冬将軍」到来の時期となりました。昨冬の大雪の教訓を生かして、早めに準備しましょう。

3日間で169センチ

雪害の記録あれこれ

大野市の雪害状況と対応

◆降雪状況（有終公園での測定結果）
最大積雪深一六一センチ（二月十一日）
最大新雪深七二センチ（十二月十四日）
総降雪量六七二センチ

◆人的被害
死者四人、負傷者三十二人

◆建物被害
住家の全半壊はなかったものの非住家で全壊二十一棟、半壊六棟。そのほか、一部損壊や床下浸水の被害も発生しました

◆避難勧告
十二月二十四日、中荒井町二丁目
の倉庫が一部倒壊。残った部分も倒壊の恐れがあり、錦町二区五世帯十八人に避難勧告を出しました

◆対策本部
十二月二十三日、昭和五十九年以來二十一年ぶりとなる雪害対策本部を設置して全庁体制で対応しました

「平成18年豪雪」の教訓生かし



晴れ間を利用して屋根雪下ろし

昭和三十八年豪雪（いわゆる三八豪雪）以来、四十三年ぶりに命名された「平成十八年豪雪」は、十二月五日未明から降り始めました。特に十二月十三日から十五日の三日間では延べ一六九センチの新雪を記録（消防本部計測。場所は有終公園）。市内各地で慌てて屋根雪下ろしをする人の姿が見られました。

昨シーズンは屋根雪下ろしや除雪作業中の事故により、全国で死者・行方不明者が百三十九人、市内でも四人が死亡、三十二人が負傷しました。また自力での屋根雪下ろしが困難な高齢者世帯などからの除雪依頼も殺到しました。

昨冬の大雪は、降り始めた時期が早く、積もった雪が普段より重かったため、空き家・空き工場の建物倒壊や農業用パイプハウスの被害が相次ぎました。



倉庫倒壊で付近住民に避難勧告



雪の重みでつぶれたパイプハウス

雪が降る前でも準備が大切です

住宅や庭の雪囲いはもちろん、除雪器具の購入・点検や屋根雪を下ろす場所のチェックを忘れずに行っておきましょう。

早めの準備が一番

県内有数の豪雪地帯といわれる大野市の中でも降雪量が特に多い和泉地区では、十一月に入るとあちらこちらで雪囲い準備が行われます。

上大納に住む番屋喜代志さんは奥さんと二人暮らし。八十歳を迎えた今年も自分のペースで雪囲い準備を進めていました。「例年なら十一月十日ごろから準備するのですが、今年は早く降り慌ててしまったので、今年は一週間ほど早く作業し始めました。トタン屋根も雪が滑りやすくなるよう、ペンキを塗ってもちろっているんですよ」。

番屋さん宅では、奥さんの希望でまきストーブで生活しています。その原料となるまきは、雪の残る四月から切り始めて乾燥させることで、すでに自宅と自宅近くの倉庫いっしょに準備してありました。「昨年の大雪は、玄関先以外が雪で埋まり隣家の軒先が雪の重みで壊れました。」



自宅の車庫にはしごをかけずに上れ、よく降ったね」と話してくれました。

ガス漏れ防ごう

屋根雪の落下や雪下ろしの際、ガスの配管が破損して思わぬガス漏れが発生することがあります。昭和五十六年の大雪時には県内で千二百八十件のガス漏れが発生しました。

下図の通り、屋根の軒下にプロパンガスが設置されている家庭は、ボンベを板などで囲って雪がかからないよう工夫し、調整器やゴムホースを保護してください。

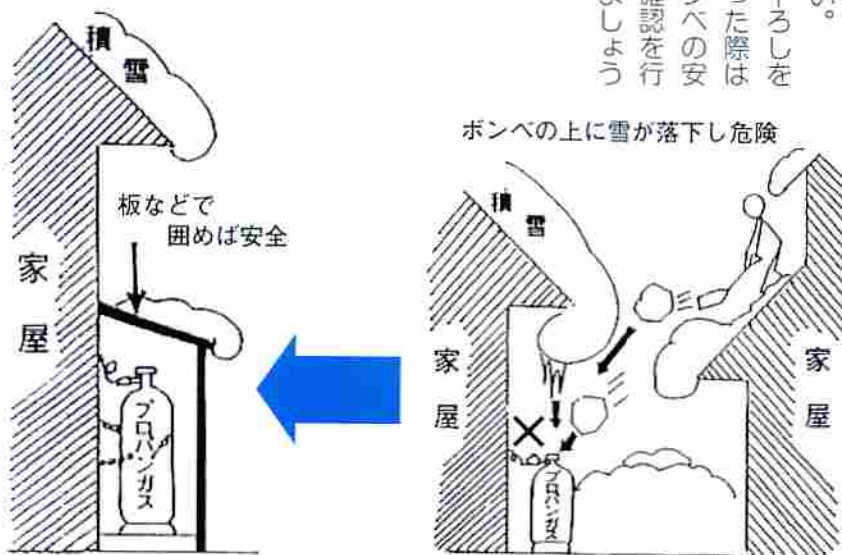
※雪下ろしを行った際はボンベの安全確認を行います

取材中遭遇したイタチを見て「雪が近いな」と話しながら作業する番屋さん（11月5日）

給油時は特に注意して

石油ストーブや石油ファンヒーターを給油する際、火を付けたまま給油していませんか。給油は必ず火が消えていることを確認してから行いましょう。昨冬も給油時の火災が発生しました。

ストーブなどの近くに燃えやすいものを置いたり、洗濯物を乾かしたりしないでください。



降雪、積雪時の注意点

雪は必ず降ります。日ごろから気象情報などを注視し、早めの対応を心掛けてみましょう。

円滑な除雪に協力を

道路の除雪は建設課と県大野土木事務所が担当します。**新積雪一〇時**で除雪車が出動します。夜間の降雪に対しては、通勤・通学の足を守るため、早朝除雪を行います。通常の除雪体制は、国道と県道、市道合わせて除雪車約二百八十台です。

路上駐車は除雪の障害となりますので、絶対にやめましょう。また除

雪車の通過後、玄関先などに残る雪は各家庭で処理してください。ごみ収集を円滑に行うため、地区のごみステーション付近の除雪に協力をお願いします。

道路脇に樹木を所有している人は倒木の危険がないかを確認してください。もし倒木があった場合、市から所有者に連絡調整しますが、交通障害が発生しているなど早急な対応が必要なときは、連絡する前に県や

県内の積雪量・路面状況などインターネットで確認を

「雪みち情報ネットふくい」のホームページで、県内の積雪量や道路監視カメラの映像などが見られます。冬の道路状況を事前に確認してから出掛けましょう。

◆パソコン

<http://info.pref.fukui.jp/hozen/yuki/>

◆NTTドコモ

<http://info.pref.fukui.jp/hozen/yuki/i/>

◆au

<http://info.pref.fukui.jp/hozen/yuki/ez/>

◆ソフトバンク

<http://info.pref.fukui.jp/hozen/yuki/y/>

※大野土木事務所管内の積雪情報や冬期の通行止め情報が電話で聞けます
電話番号 ☎ 66・1980 (自動応答)



市で切断や仮撤去を行います。(最終的な処分は所有者の責任です)

県では、バス停などに設置した緑色のスコップで除雪してもらう「みどりのスコップひとかき運動」を実施しています。待ち時間を利用した除雪に協力をお願いします。

空き家・空き工場の所有者責任持って屋根雪の管理を

昨冬の大雪では、空き家や空き工場が放置され、雪の重さに耐え切れず倒壊する被害が相次ぎました。

付近の住民や通学途中の子供たちが被害に遭う恐れがあります。空き家や空き工場の所有者(管理者)は、

流雪溝など適正な利用を

昨冬の大雪では、流雪溝や水路などに雪が詰まり下流域を中心に水があふれる被害が発生しました。流雪溝などは次の点に注意し、適正な利用を心掛けましょう。

▼降雪時の朝夕、土・日は排雪が集中します。同一の流雪溝などを使用する区は、事前に連絡調整を行うって排雪するようにしましょう。

▼流雪溝などに雪を流す際は細かく砕いて流れやすくしましょう。機械による直接の投雪はやめましょう。

▼流雪溝などの水量が少ないときは水量を確認してから排雪しましょう。

▼開閉式のふたを開けて排雪する場合、必ず赤布などの目印を立てて歩行者や車が確認できるようにしましょう。



責任を持って早めに屋根雪下ろしを行ってください。

地下水の節水を心掛けて

本格的な降雪が始まり地下水位の低下が進むと家庭用井戸の水枯れが心配されます。降雪の影響や水田に水が張られていないことなどから、地下水の水源となる自然からの水の供給があまり望めなくなります。

そこで市では、十月から二月にかけて木ノ本原の水田十畝を借り上げて地下へしみ込むよう水を張る「水田湛水事業」を行っています。また昨年からは中据に広さ約一〇〇平方分の人工かん養池を設置し、地下水位の上昇対策を実施しています。しかし、このような取り組みだけでは地下水位の低下は防げません。



中据に設置したかん養池

生活用水を守るためには一人一人の節水に対する心掛けが大切です。道路や駐車場の融雪に地下水を利用することは絶対にやめましょう。洗車の回数を減らしたり、洗濯にふるの残り湯を利用したりすることも大切な節水対策です。

地域で協力し合う

大雪になると地域で協力し合って除雪することが重要となります。特に自宅の屋根雪下ろしを実施する場合は、できるだけ町内一斉に行いましょう。

屋根雪下ろし作業は大変重労働です。次の点に注意して作業しましょう。

▼早朝に作業するときには、朝食をしつかり食べて準備体操を入念に行つてから取り掛かりましょう。その際は暖かい服装で体温の急激な低下を防ぎましょう。

▼作業に取り掛かるときは足場を確保し、長靴に荒縄を巻くなど滑らない工夫をしましょう。

▼作業中はこまめに水分を補給し、休憩時間を確保しましょう。また必ず二人以上で作業し、お互いの安全を確認し合ひましょう。

▼作業後は汗を十分にふき取り、着替えを行うなど、体調管理を行いましょう。

市では自力で屋根雪下ろしを行うことが困難な人を対象に、地域ぐるみでの実施に助成と作業者の紹介を行っています。

地域ぐるみでの実施に助成

この事業は、除雪対象名簿に記載された人の住宅の屋根雪下ろしを地域ぐるみで実施した場合、除雪経費を助成するものです。

現在、公民館ごとに区長や民生委員などで構成する「地域ぐるみ雪下ろし協力推進協議会」では、屋根雪下ろしが必要な除雪対象予定者の名簿を作成しています。

対象は、65歳以上の一人暮らし世帯がいずれも65歳以上の二人暮らし世帯または一人暮らしの体の不自由な人で、所得税非課税世帯に属する人です。ただし自力で雪下ろしを行うことが困難で、子供などから除雪の援助が受けられない人に限ります。該当する人は区長または社会福祉課まで相談してください。

相談・問合せ先 社会福祉課高齢福祉係
(☎66・1111内線475)

作業者の登録・紹介

自力で住宅の屋根雪下ろしを行うことが困難な世帯を対象に、作業者の登録と紹介を行っています。

紹介は無料ですが、作業は有料です。

※作業を依頼する場合、事前に作業内容や料金を決定した上で、作業してもらってください

◆作業者として登録したい人

総務課に電話で「登録票」の送付を依頼し、送付された登録票に必要事項を記入し返送

◆作業者を紹介してほしい人

総務課に電話で「登録者名簿」の送付を依頼し、その名簿を基に自分で連絡し作業依頼

登録・問合せ先 総務課行政係
(☎66・1111内線245)



年末年始 市の業務

十一月二十九日(金)から一月三日(水)まで、市の一般業務は休みとなります。
年末年始の主な業務は次の通りです。

市民課窓口は28日まで

←市民の利便性を高めるため、9月から試行延長している市民課窓口(毎週月・木曜日午後8時まで)



市民課の窓口業務は二十八日までです。九月から月曜日と木曜日限り、窓口時間の延長を試行しています。二十八日(金)と平成十九年一月四日(金)は、住民票や印鑑証明などの証明書発行業務を午後八時まで行います。また住民票と税証明書は二十八日に電話予約すれば、休みの間に当直室で受け取ることができます。どうぞ利用ください。

なお戸籍の届け出(出生・婚姻・死亡など)は、休みの間も当直室で受け付けます。

問合せ先 市民課市民窓口係 (☎66・1111 内線453)

納税窓口を特別に開設

納税に関する相談や納付の特別窓口を二十九日と三十日、税務課に開設します。(時間は左表の通り)

問合せ先 税務課納税係 (☎66・1111 内線421)

ごみ収集は29日まで

ごみは二十九日まで収集します。ごみを出す際は、各家庭に配布されているごみ収集カレンダーで種類を確認して出してください。年明けは四日から収集します。また一月八日(金)の祝日は平常通り収集を行います。

問合せ先 生活環境課廃棄物対策係 (☎66・1111 内線466)

※大野・勝山地区広域行政事務組合が運営するビュークリンおくえつでは、十二月二十四日(金)に休日ごみ持ち込みを受け付けます。時間は午前八時三十分から午後四時三十分まで(ただし正午から午後一時を除く)

問合せ先 大野・勝山地区広域行政事務組合 (☎66・6690)

し尿くみ取りは早めに

し尿のくみ取り業者は二十九日から一月四日まで休業となります。年末は大変込み合いますので、早めに業者へ申し込みください。

和泉地区

和泉地区のし尿のくみ取りは、毎月第二・第四水曜日です。冬期間は雪のため、くみ取りが困難な場合が予想されることから、十二月は第三水曜日(二十日)も業務を行います。早めのくみ取りに協力をお願いします。

す。申し込みは、希望日の一週間前までに和泉支所住民課(☎78・2111)へ連絡してください。

なお年明けは、第二水曜日(一月十日)から業務を行います。
問合せ先 生活環境課浄化処理係 (☎69・6080)

急患の診療は

三十日から一月三日は、休日急患診療所で急患の診療を行います。

三十日は午後一時から九時まで内科・外科の診療を行い、夜間は医師が待機します。三十一日から一月三日は午前九時から午後九時まで内科・外科・小児科の診療を行います。受診する際は、保険証と服用している薬の説明書を必ず持参してください。

※和泉診療所は二十九日から一月三日まで休みとなります

問合せ先 休日急患診療所 (☎65・8990)

図書館は27日まで

図書館は二十八日から一月四日まで休館です。

なお十二月十四日から三月三十一日まで、図書貸出し期間を二週間から三週間に延長します。

問合せ先 図書館 (☎65・5500)

年末年始の業務内容（12月27日～1月5日）

	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
市民課	平常	平常(※)	休	休	休	休	休	休	平常(※)	平常
税務課納税窓口	平常	平常	午前8時半～午後4時	午前8時半～午後4時	休	休	休	休	平常	平常
ごみ収集・持ち込み	平常	平常	平常	休	休	休	休	休	平常	平常
し尿くみ取り	平常	平常	休	休	休	休	休	休	休	平常
休日急患診療所	休	休	休	午後1時～午後9時 夜間待機	午前9時～午後9時	午前9時～午後9時	午前9時～午後9時	午前9時～午後9時	休	休
(診療内容)				内科・外科	内科・外科・小児科	内科・外科・小児科	内科・外科・小児科	内科・外科・小児科		
図書館	平常	休	休	休	休	休	休	休	休	平常

※市民課は毎週月曜日と木曜日、午後8時まで窓口業務を延長しています

飲んだら乗るな！乗るなら飲むな！

年末を迎え、忘年会など飲酒の機会が多くなります。また、降雪や路面凍結など道路環境が悪化することで交通事故の増加が懸念されます。

●飲酒運転の根絶
「これくらいなら」「少しの距離だから」といった安易な気持ちで捨て、一口でも飲んだら絶対に乗らない、あらかじめ飲酒が予想される会合などには車に乗っていかないなど、徹底しましょう。運転手だけでなく、運転を強要した上司

県民一人一人が交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることで、交通事故の防止につながります。「飲んだら乗るな！乗るなら飲むな！」を徹底しましょう。

●飲酒運転の根絶
「これくらいなら」「少しの距離だから」といった安易な気持ちで捨て、一口でも飲んだら絶対に乗らない、あらかじめ飲酒が予想される会合などには車に乗っていかないなど、徹底しましょう。運転手だけでなく、運転を強要した上司

●交通事故防止
スピードは落とす、夕暮れ時には早めにライトをつけるなど、思いやりを持った運転を心掛けましょう。特に積雪時にはスリップ事故が多発します。車間距離は十分にとって事故を防止しましょう。

●北陸三県統一スローガン
「ゆっくり走ろう」
雪のふる里

北陸路

12月11日(月)～20日(水) 年末の交通安全県民運動を実施



大野市交通対策協議会のポスター

市政功労者22人を表彰



市政に関するさまざまな活動に携わり、その充実と発展に貢献した方を表彰する市政功労者表彰式を十一月三日に行いました。表彰を受けたのは次の皆さんです。(敬称略順不同)

● 自治振興

▼天谷光治(東中野)大野市長として三期十二年、市政の発展と地方自治の進展に寄与▼前田佳一(越前町江波)大野市助役として十年余、市政の発展と地方自治の進展に寄与▼松浦敏夫(上篠座1)・森永美登志(医王寺)・中澤庄一郎(庄林)行政連絡事務嘱託員として十五年余、地域住民の福祉向上と地区自治活動に尽力▼末永富美代(川合)行政相談委員として二十八年余、住民に密着した相談活動に尽力

● 社会事業

▼松田まつ枝(要町)・古川茂雄(下大納)人権擁護委員として十二年余、市民の人権擁護活動に尽力▼岸本利夫(松丸)・北山秀雄(尾永見)・正津みち丞(南六呂師)・島口美代子(大西出)民生委員・児童委員として十三年余、地域社会の福祉増進に寄与▼廣瀬義輝(水落町)社会福祉法人亀山保育園理事長として二十一年余、保育の向上と児童福祉の増進に寄与

▼石田秀徳(上篠座1)社会福祉法人篠原保育園理事長として二十五年余、保育の向上と児童福祉の増進に寄与

● 産業振興

▼久保藤士繼(上打波)五箇特殊林産物振興組合組合長として三十一年余、特殊林産物の研究・生産の増強、品質の改善などに寄与

● 教育文化

▼木下正義(及江)体育指導委員として十七年余、市のスポーツ振興・発展に寄与

● 保健衛生

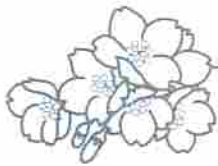
▼福田豊子(清瀬)・向村一枝(今井)・南幸江(美里町)保健推進員として十八年余、健康づくりの地域リーダーを務め、健康増進活動に尽力

● 交通

▼木瀬正治(本町2上)交通安全協会役員として三十年余、協会の円滑な運営と交通安全意識の普及に尽力▼門前義昭(西山)交通指導員として十五年余、交通安全の保持に尽力

● 消防

▼城地正(蔵生)消防団の役員として十五年余、市民生活の安定と消防の発展に寄与



来春入園を希望する人へ

保育園と公立幼稚園申し込み

保育園一覽

保育園名	区分	電話	所在地	特別保育			
				延長	早朝	休日	一時
あかね保育園	公立	66-5273	水落町7-24	○			○
荒島保育園	公立	66-4103	蕨生126-29	○			○
和泉保育園	公立	78-2812	朝日25-7	○			○
春日保育園	公立	66-4005	日吉町24-6	○			○
阪谷保育園	公立	67-1070	伏石11-14	○			○
義景保育園	公立	66-3333	清水119-12-1	○			○
いとよ保育園	民間	66-3848	清和町710	○	○		○
いなやま保育園	民間	66-0038	篠座94-39	○	○		○
開成保育園	民間	65-1103	新庄5-15-2	○	○		○
上庄保育園	民間	64-1217	稲郷43-5	○			○
亀山保育園	民間	65-1104	水落町3-35	○	○		○
篠座保育園	民間	65-6570	篠座74-32	○	○		○
誓念寺保育園	民間	65-6167	錦町4-17	○	○	○	○
誓念寺中野保育園	民間	65-6166	中野64-18-3	○	○		○

平成19年4月に
公立・民間の保育園
または公立の幼稚園
に入園希望する
人の申し込みを
受け付けます。



保育園

公立幼稚園

入園資格 保護者が仕事や病気などで保育できない児童

保育時間 午前八時から午後五時

保育料 入園する児童の年齢と保護者（父母のみ）の所得税額などに応じて算定

申込期間 十二月一日（金）～二十日（金）

申込方法 児童福祉課または各保育園に置いてある申し込み書に必要事項を記入して提出

入園決定 二月中旬に面接と調査を行い、三月中旬に可否を通知

申込・問合せ先 児童福祉課子育て支援係（☎66・1111内線292）

【特別保育】 各保育園では通常の保育以外に特別保育を実施しています。特別保育を実施する園は上表の通りです。詳しくは児童福祉課まで問い合わせください。

◆延長保育 通常の保育時間を午後七時まで延長します

◆早朝保育 午前七時から保育します

◆休日保育 日曜日と祝日に保育します

◆一時保育 冠婚葬祭や病気などで急に家庭で保育できなくなった場合に一時的に児童を預かります

公立幼稚園一覽

幼稚園名	電話	所在地
乾側幼稚園	65-6263	牛ヶ原66-1
小山幼稚園	65-2911	下舌9-1-1
上庄幼稚園	64-1140	稲郷27-11
阪谷幼稚園	67-1070	伏石11-14
富田幼稚園	66-4257	上野42-17

入園資格 平成十九年四月一日現在で満三歳以上の幼児

入園料 一万二千元

保育料 月額六千円（給食費・教材費などが別途必要）

申込期間 十二月一日（金）～二十日（金）

申込方法 教育委員会または各幼稚園に置いてある入園願書に必要事項を記入して提出

入園決定 三月中旬に入園許可証を送付

申込・問合せ先 教育委員会学校教育課（☎66・1111内線521）

【預かり保育】 通常午後二時までの保育時間終了後、午後五時まで園児を預かります。一回八百円です。

教育のページ

● 学校教育の話題から文化、スポーツ、生涯学習まで市内の教育情報をまとめて紹介します。大野市教育委員会 ☎0779・66・1111

地区最大イベント通し体験活動

今年四月に開校した「和泉小中学校」が、十月下旬に開かれた「第二十七回九頭竜紅葉まつり」に参加しました。

これまで朝日小学校、和泉中学校としてまつりに参加してきましたが、小中学校となつてからは初めて

の参加です。和泉小中学校の教育理念である「恵まれた自然と地域の中で、九年間を見通し、一人ひとりの豊かであらう心と身体と学ぶ力を育てる」ため、学校間で連携しながら年代に応じた取り組みを行っています。その内容を紹介します。

小学校…書く力の育成

小学校では「確かに学び、伝え合う子を育てる」を研究主題とし、自分の考えを相手に的確に伝えるため「聞く・話す」だけでなく「書く」力の育成に取り組んでいます。まつりと和泉地区の魅力をパンフレットを作成し、学校の畑で栽培した特産「穴馬カブラ」をセットにして来場者に配布しました。子供たちは「このカブラは自分たちで大切に育ててきたものです。パンフレットにはカブラの料理

法や名所などが書いてあります。カブラはみそ汁に使ってもおいしいですよ」と言いながら手渡していました。

また、社会福祉協議会と協力して赤い羽根共同募金の協力呼び掛けを行いました。呼び掛けを通して、募金の大切さや募金してくれた人への感謝の気持ちを自分の言葉で伝えていました。

中学校…表現力の習得

中学校では「自ら学び、より豊かに表現しようとする生徒を育てる」を研究主題に、自ら課題を見つけ、課題解決に向けて行動できる能力の育成に取り組んでいます。まつりに参加するに当たり、三班に分かれて作業を実施しました。さつまいも班はうね作りから苗植え、収穫までを行い、ハーブ班は校庭の一画で育てた食用と観賞用のハーブ



中学校のブースではさつまいもやハーブ、しおりの販売が行われ、来場者に大声で呼び掛けていました。

十一種類を丁寧に容器に入れ、それぞれ販売。しおり班は地区の動植物などを描いた手作りしおりを販売したほか、体験コーナーを設置して作成方法などを伝授していました。テント前では各班が競うように大声で来場者に呼び掛けていました。

和泉小中学校が紅葉まつりに参加



自分たちで育てた特産「穴馬カブラ」を収穫する児童

市外在住で参加する人へ

— 実行委員会で独自企画も —

「平成19年成人式」を平成19年1月7日(日)午後1時から文化会館で開催します。

市外に住民登録している新成人(昭和61年4月2日から昭和62年4月1日生まれ)で、成人式に参加を希望する人は事前に申し込みが必要です。申し込みがない場合、成人式の案内が届きません。

市内にある人は、案内が送付されますので申し込みは不要です
申込方法 電話またはファクスで、住所・氏名・生年月日・案内を送付する住所・電話番号を連絡

申込締切日 12月15日(金)

その他 案内は12月下旬に送付します。参加者には記念品を渡します
問合せ先 教育委員会社会教育課
 (☎65・5590 66・28885)



平成19年成人式

3年ぶり 実行委員会で企画

今年は3年ぶりに新成人7人による実行委員会が結成されました。記念コンサートやビデオレターの上映などを企画しています。

新成人になる人はぜひ参加してください。

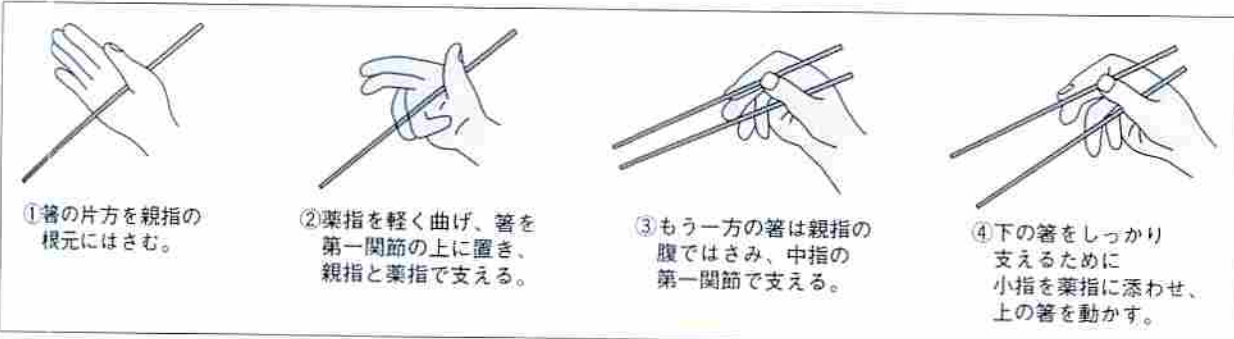
箸(はし)正しく使えますか

箸の使い方は食事の作法やしつけにも深く関係する日本の大切な文化です。箸を正しく使うことは食事作法の基本です。子供のころから正しく使う方法を習得させましょう。
 マナー違反の箸の使い方を「嫌いな箸」と言います。ここではやってはいけない箸の使い方の一例を紹介。もし子供がしていたら根気強く注意してあげましょう。

- 【ねぶりばし】箸の先をなめたり、くわえたりする
- 【ちぎりばし】箸を両手に一本ずつ持ち、食べ物をちぎる
- 【迷いばし】どれを食べようか、はしを持ったまま迷う
- 【さしばし】つまみにくい食べ物を箸の先でさして食べる
- 【寄せばし】遠くにある食器を箸で手元に引き寄せる
- 【握りばし】片手で二本の箸を握って食べる



〈正しい箸の使い方〉



①箸の片方を親指の根元にはさむ。

②薬指を軽く曲げ、箸を第一関節の上に置き、親指と薬指で支える。

③もう一方の箸は親指の腹ではさみ、中指の第一関節で支える。

④下の箸をしっかりと支えるために小指を薬指に添わせ、上の箸を動かす。

健康長寿ふくいの食育活動マニュアル(平成17年11月福井県発刊)より

荒島岳での山頂結婚式

(標高1523.3m)



新郎の洋平さんと新婦の郁恵さん。新婦のドレスは郁恵さんの手作りです

大野市勝原に「そらのあお」という、ログハウスのとてもおしゃれな喫茶店があります。その喫茶店のオーナーである近藤郁恵さんが、百名山の一つにも数えられている荒島岳の山頂で十月一日に結婚式を行いました。

郁恵さんは勝原で生まれ自然豊かな環境に囲まれながら育ちました。また、郁恵さん一家は民宿も営んでおり、登山客やスキー客の方々から荒島岳に関するいろんな話を耳にしてきたので、幼いころから郁恵さんにとって荒島岳は生活の一部のような存在となっていたそうです。

今から三年前、荒島岳を愛する有志が会を結成し、そらのあおに集うようになりました。郁恵さんはメンバーの荒島岳に対する熱い思いを感じ、自分も荒島岳を守らなければいけないと一層強く思ったそうです。

新郎の洋平さんは新聞記者で、三年間大野で勤務されてきました。あわら市出身の洋平さんですが、取材で大野市のさまざまな自然や人々と出会い、今では大野が第二のふるさとのような存在だそうです。

二人の出会いには洋平さんが荒島岳の取材のため勝原に訪れ、その帰りに偶然喫茶店に寄ったことがきっかけでした。まさに、荒島岳が二人の出会いのきっかけとなったのです。

郁恵さんには、長年見続けてきた荒島岳で会の皆さんに見守られながら結婚式を挙げたいという思いがありました。洋平さんも県内で唯一の百名山で結婚式を挙げることにとても興味を持っていたそうです。

荒島岳山頂での結婚式は郁恵さんと洋平さんの荒島岳に対する特別な思いと、「荒島愛山会」メンバーの協力の下に実現しました。



てくてく レポート[®]

～リポーターが
お伺いします～



リポーター

ひろせ
廣瀬
こころ
心さん
(19歳 庄林)

今回初めて荒島岳に登り正直考えていた以上の辛さがありました。特に「もちが壁」と呼ばれる一番の急斜面が私にとって難所でした。しかし、山道沿いには見応えのあるブナ林が生い茂っており、その勇壮さにはとても圧倒されました。

新郎のご両親

百名山で息子の結婚式を挙げる事ができて、とてもうれしく思います。荒島岳での結婚式をサポートして頂いた方々にとっても感謝しています。



新婦のご両親

まさかこんなに盛大に結婚式をしていただけるとは思いませんでした。素晴らしい仲間に出会っているからこそ実現した結婚式なので、とても感謝しています。

結婚式当日

式の主役である新郎新婦の洋平さんと郁恵さんは早朝、荒島岳山頂を目指すため山に登り始めました。共に山道での幾つかの難所を乗り越え、無事山頂にゴールする。この時点から二人の中の結婚式は始まっていたのだと思えました。



そして約二時間半登り、山頂に到着。式の前、郁恵さんはとても緊張していると言っていました。洋平さんは式をとても待ちわびている様子でした。

天候の影響で式は予定時刻より三十分ほど早く始まりました。新婦入場で、郁恵さんはお父さんと一緒にパーシントンロードの上を歩きました。



最後に山頂で結婚式をした証として

荒島岳の山頂に立っているという事が、郁恵さんたちをとても幸せにしているように思いました。誓いの言葉、指輪交換と進行していき、

～二人の荒島岳への思い入れ～



この誓約書は以前二人で紙すきに行き作ったもので、ブナの葉をすき込んであります。

二人で三角点に触りました。この時二人は改めて山頂までの道のりを思い出したのではないかと感じました。

また、結婚式には欠かせないウエディングケーキは会のメンバーが山頂で作ったもので、その場で作ったものとは思えないほど立派でした。そのケーキを郁恵さんに口に運んでもらった時の洋平さんの表情はとても幸せそうでした。そして、二人の新たな門出を祝い乾杯！

最後に出席者全員で記念撮影があら、結婚式は無事終了しました。



洋平さんの指輪には、荒島岳をかたどった模様が彫られていました。世界に一つしかない素敵な指輪でした。



市民のページ

●あなたも紙面に参加しませんか。希望する人は、情報広報課広報広聴係まで
 ☎0779・66・1111（内線441）

個性ある歌い方大切に

トレモロ

ぐるーぷ登場



昨年のファミリーコンサート

ボーカルアンサンブル「トレモロ」は歌の好きな市民が集まって活動しているグループです。グループ名はイタリア語で「響き」という意味です。平成十六年に大野高校の同窓会で、同校の吹奏楽部と合唱部を交えたコンサートを開催。その時集まったメンバーで結成しました。

「トレモロは、メンバー全員で一緒に歌うだけの合唱団ではありません。合唱することもあります。より歌う人の個性が発揮できるように一人や少数人数で歌うことに重点を置いています。個性を出してもらうことが会の特徴になっていると思います。結成当初は女性しかいませんでしたが、今では男性メンバーも入会し、歌える曲の選択肢が広がりました」と代表の脇本淳子さん。

去年から、ソプラノ歌手の飯田美奈子さんを講師に練習を重ねています。「先生がプロの歌手なので、発声の方法や表現の仕方などをしっかりと教えてくれます。教わる歌も

ドイツ語やイタリア語など原語で歌います。先生も気さくて会の雰囲気も良く楽しんで歌っています」「今まではカラオケもあまり歌ったことがなく、ピアノを前にして歌う自分の姿を想像することもできませんでした。歌うことでストレス解消にもなるし、面白いですよ」とメンバーの皆さん。

十二月三日には学びの里「めいりん」でファミリーコンサートを開催します。今年はモーツァルト生誕二百五十周年で、モーツァルトなどのクラシックを主に歌うそうです。「ジャズバンドの特別出演のほか、おなじみの曲を会場の皆さんと一緒に歌ったり、バレエの発表を行ったりするので、いろいろ楽し



めると思いますよ。トレモロではメンバーを集めています。一緒に歌ってみたいという人は、脇本さん（☎65・8007）まで連絡してください。



牧野 康博さん (大野高校3年)

牧野さんは陸上の格闘技とも呼ばれる800mの選手です。自己ベストは1分51秒86で、100mを13秒98で走る計算になります。8月に開かれた高校総体で3位、10月の国体では2位と連続入賞を果たしました。

——まず高校総体を振り返ってください
高校総体は全国から66人が参加しました。大

こんにちは

高校総体と国体陸上(800M)連続入賞 「大学では日本一になりたい」

会を通してあまり調子はよくなかったのですが、最後の直線100mで追い込む作戦をとりました。初めて決勝に進み、決勝でも作戦がうまくいって3位に入ることができて満足しています。

——国体ではどうでしたか

調子良かったこともあり優勝を狙っていました。決勝ではスタート前から風が強かったので、風の影響を受けやすい先頭には誰も行きたがらないだろうと思っていました。しかしレース序盤から周りの選手が飛ばしたため、予定より後ろの位置取りになってしまいました。ラストスパートで2位にまで順位を上げたのですが、位置取りの差で優勝できず悔しかったです。

——800m走のポイント

スタートからの100mでしっかりとスピードに乗って、集団の中でいい位置につけられるようにします。500m過ぎから追い込みをかけて、最後の直線100mでラストスパートをかけます。最後の切り替えが重要だと考えています。

——今後の目標は

進学する予定なのですが、進学後も陸上を続けて大学で日本一になりたいですね。

【一般小説】
雪猫(高橋義志) 求愛(柴田よしき) 天下布武 上下(安部龍太郎) 空飛ぶタイヤ(池井戸潤) 牡丹酒(山本一力) 導火線(松浪和夫) 恋いちもんめ(宇江佐真理) ファンフィクション

新着図書

【児童図書】
着物の大研究(PHP研究所) きんじょのきんぎょ(内田麟太郎) モコモコちゃん家出する(角野栄子) ヘネチア人にならばがはえた日(アンドレア・モレジーニ)

※先月号の広報で紹介した『給食・我家のおすすめレシピ集』の貸し出しを始めました。

読書のススメ



ちよい太で
だいじょうぶ
鎌田 實

『ちよい太で
だいじょうぶ』

鎌田 實 著
集英社 刊

近ごろ、メタボリックシンドロームという言葉をよく耳にします。日本語に訳すと内臓脂肪症候群という意味です。内臓脂肪が引き起こす肥満はさまざまな生活習慣病の原因になります。

この本の著者は、32年間の医師としての経験と自らの体験を踏まえて、脂肪を防ぐことが健康で長生きするために重要だと紹介しています。ちょっとだけ小太りのほうが死亡率が低いという追跡調査も紹介してあります。本文の大切な部分は活字を太く大きくして目立つように書かれていますので、難しいと思ったところは読み飛ばして気楽に読むことができます。



お知らせ

●大野市役所・大野市教育委員会 ☎0779・66・1111
住所 〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

越美北線利用促進募金に協力を



1000円以上募金した人に贈られる越美北線のプラモデル

大野市と福井市を結ぶ越美北線は、九頭竜線の愛称で親しまれ、地域住民の生活に不可欠な足として、また観光客の交通アクセスとして重要な役割を担っています。

「平成16年7月福井豪雨」で甚大な被害を受け、開業以来最大の存続の岐路に立たされました。越美北線と乗り合いバスに乗る運動を進める会では、「越美北線利用促進募金」を創設し、利用促進事業などに活用していきます。ご理解と積極的な支援をお願いします。

問合せ先 越美北線と乗り合いバスに乗る運動を進める会事務局（商工振興課公共交通係 ☎66・1111内線3322）

「人権週間」4日から

企画課

12月4日から10日は人権週間です。人権尊重思想を普及するため、啓発活動を全国的に展開しています。

人権にかかわる相談は、法務大臣から委嘱を受けた人権擁護委員が受け付けています。相談は無料で、秘密は固く守られます。電話での相談も受け付けますので、気軽に相談ください。

【定期相談】

日時 毎月第1・3木曜日
午後1時30分～3時30分
場所 天神館（大野市社会福祉協議会横）

【特設相談】

日時 12月8日（金）午後1時30分～3時30分
場所 和泉ふれあい会館
（朝日26-30-1）

人権擁護委員（敬称略）

多田正則（伏石16-6 ☎67・1491）
堂東昭子（中野46-41 ☎66・3710）
松田八重子（城町7-4 ☎66・5534）
萩原勢子（泉町8-13 ☎66

・3247）

廣瀬円昌（藤生22-40 ☎65

・4024）

神田泰淳（今井15-13 ☎64

・1104）

新屋芳江（朝日18-37 ☎78

・2402）

表秀信（朝日18-25 ☎78

・2185）

問合せ先 企画課市民協働係
（☎66・1111内線431）

償却資産の申告

1月31日までに

税務課

1月1日現在で所有する事業用償却資産に対して、固定資産税が課税されます。市内に、該当する資産を保有または貸し付けている法人や個人は、地方税法の定めにより申告することになっています。期限の1月31日までに必ず申告書を提出してください。対象となる資産は、法人税法または所得税法に基づく所得の計算上「減価償却費」として損金が必要経費に参入される機械、器具、運搬具、装置、備品、車両、建築物などです。

冬期は油の流出に注意を！

冬期は暖房器具などへの給油や、燃料配管の破損による油漏れ事故が増える時季です。流出した油は側溝や水路を通り川に流れます。川の水が汚染されると魚など水生生物に影響があるほか、川の水を利用する多くの人に迷惑をかけます。水質事故防止のため、次のことに注意してください。

- 給油中はその場を離れないでください。また、雪の重みにより給油管が破損する恐れがありますので、定期的な燃料機器や配管の点検を行ってください。
- 油が流出した場合、市役所、消防署、奥越健康福祉センター、県大野土木事務所、大野警察署などが出動して原因の調査や油の回収・処理をします。早い時期での対応が重要なので、速やかな連絡をお願いします。

問合せ先 生活環境課環境保全係
（☎66・1111内線462）

提出・問合せ先 税務課資産

係 ☎66・1111内線428）

入札参加資格の更新

契約検査課

平成19・20年度競争入札参加資格の審査受け付けを行います。受け付け期間は平成19年1月から2月を予定しています。

対象となるのは、市が発注

する建設工事と建設工事に係る測量業務です。

詳細が決まり次第、市のホームページでお知らせします。
問合せ先 契約検査課契約係
（☎66・1111内線382）



食育講演会開催

市では現在「食育推進計画」の策定作業を進めています。食育は年齢を問わず、だれもが食に対する考え方や取り組みを深めようとするものです。

今回、食育に関する講演会を開催します。「食育って聞いたことあるけど、何をすればいいの?」といった疑問に対する取り組みなどを分かりやすく紹介。気軽に来場してください。



日時 12月17日①

午後1時～3時

場所 学びの里「めいりん」

講師 栗田庄一さん(農山漁村文化協会常任理事)

入場料 無料(申し込み不要)

問合せ先 農政課農業振興係

(☎66・1111内線317)

国民年金

障害基礎年金は、次の要件をすべて満たす場合に支給されます。

①国民年金加入中に病気やけがなどが原因で障害が残り、障害の症状が固定した時点で障害年金1・2級に該当する状態であること

※障害者手帳の級とは異なります

②一定の保険料納付要件を満たすこと
また20歳になる前や、60歳から64歳で老齢基礎年金を受け取る前に①の状態になった人にも支給されます。

問合せ先 市民課国保年金係

(☎66・1111内線456)

市民のうごき

	11月1日現在	前月比
世帯数	12,317世帯	11世帯
人口	39,413人	-27人
内訳		
男	18,822人	-5人
女	20,591人	-22人
10月中の異動		
転入	60人	出生 24人
転出	83人	死亡 28人

工業統計調査

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

平成18年12月31日

経済産業省 福井県 大野市 <http://www.nepi.go.jp>

製造事業所の皆様へ

12月31日は製造事業所を対象とした「工業統計調査」の日です。12月から1月にかけて対象となる事業所に調査員が調査票を持って伺いますのでご協力をお願いします。
調査票は正確な記入をお願いします。なお、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されます。

問合せ先 情報広報課情報管理係
(☎66・1111内線444)

活用して「三二集会」

社会教育課

「三二集会」とは、青少年育成大野市民会議のメンバーが、地区の集まりなどに参加し、青少年の現状や問題などの話題を無料で提供するものです。1回15分程度ですので、気軽に申し込みください。

申込方法 各公民館が社会教育課にある申込書を提出

申込・問合せ先 教育委員会 社会教育課(☎65・5590)

参加者募集

しめ縄作り教室

下庄公民館

日時 12月3日①(午前9時～)

場所 下庄公民館

定員 14人(先着)

参加料 300円

持ち物 はさみ、エプロン

申込・問合せ先 下庄公民館
(☎66・2142)

クリスマス会

図書館

日程 12月16日①

場所 図書館

参加料 無料

時間と内容

【第一部】

時間 午後1時～2時30分

対象 幼児以上

内容 紙芝居や絵本、パネルシアターなど

定員 120人

【第二部】

時間 午後3時～4時30分

対象 小学生以上

内容 ストーリーテリング(おはなし)

定員 50人

歴史博物館講座 受講生を募集

歴史博物館講座「モノから学ぶ大野の歴史と文化」を開催します。学芸員が「大野の神様を知ろう! (第3回) 『日吉神社(山王さん)・大山咋命(おおやまくいのみこと)』」をテーマに講演します。

日時 12月9日①午後1時30分～3時

場所 有終会館

定員 50人

申込締切日 12月8日①午後4時

申込方法 電話、ファクスまたはEメールで、住所・氏名・連絡先を連絡

申込・問合せ先 歴史博物館(☎65・5520)

Eメール hakubutsukan@city.fukui-ono.lg.jp

春休み体験クルーズ

B & G 海洋センター

日時 平成19年3月26日(月)

申込方法 12月2日①から図書館で招待券を配布します

問合せ先 図書館(☎65・5500)

3月31日①

行き先 東京都小笠原村父島

内容 洋上研修や寄港地活動

対象 小学4年生～中学3年生

参加料 8万円

申込締切日 12月10日①

申込・問合せ先 B & G 海洋センター(☎64・1311)



各地の特産品集う

10月21日、22日に三大朝市物産まつりが七間通りで開催されました。大野の朝市のほか、友好都市の北海道新ひだか町、新潟県糸魚川市などの特産品が所狭しと並び、たくさんの市民や観光客が買い物を楽しんでいました。

笑って健康づくり

11月12日、有終会館で健康おおの21フォーラムが開催されました。日本笑い学会副会長の昇幹夫さんが「抱腹絶倒で健康づくり」と題し講演。参加した市民はユーモアたっぷりの講演に笑みがこぼれていました。



紙遊びイベント

画家で造形作家の水野政雄さんを講師に紙遊びをするイベントが10月29日、平成大野屋で開かれました。参加した親子約50人は、紙やストローなどを使ったおもちゃ作りに夢中になっていました。

市民の力作を総集

11月2日から5日にかけて、市総合文化祭が開催されました。絵画や書、工芸作品などの市民の力作も展示され、訪れた市民の目を楽しませていました。姉妹都市の茨城県古河市からの児童・生徒の作品も出展されました。



話題のひろば



紅葉まつり初主催

合併後初となる九頭竜紅葉まつりが10月28日と29日、九頭竜国民休養地で開催されました。市として初主催した今回は両日とも天候に恵まれ、過去最高の6万人が入場。美しい紅葉をバックに、来場者はマイタケご飯やイワナの炭焼きなどを味わったり、特産品の数々や多彩なステージイベントを楽しんだりしていました。

和泉小も初参加で歌声

10月18日、文化会館で小・中学校連合音楽会が行われました。初めて参加した和泉小学校を含め各校の児童・生徒は日ごろの練習の成果を披露。美しい歌声を会場いっぱいに響かせていました。



税金の使い道学ぶ

11月9日、「税を考える週間」行事の一環として、目で見える税金教室が開かれました。開成中学校3年生の生徒125人が下水処理センターとビュークリーンおくえつを見学。税金が見学した施設に使われているという説明を真剣に聞いていました。



「五箇の幸」おいしく

食と手作りのつどいが10月29日、五箇公民館で開かれました。取れたて野菜の販売をはじめ、花の苗やのっぺい汁の無料ふるまい、特設ステージでの太鼓やハンドベルの演奏などが行われ、来場者を楽しませていました。



表紙のことば

塚原区などの高齢者で構成する「真名川クラブ」と富田小児童との交流会が10月24日に開かれました。世代間交流を目的に毎年行っているもので、招かれた3年生18人は学校周辺の史跡などを散策後、同区にある集落センターに到着。用意されたすいとんなどの戦時中の食べ物を味わって食べていました。「おいしい」と言いながらおかわりする子も。その後、子供たちが昔の遊びや学校時代の様子などを質問。「体操服は何色だったの？」との問いに「そんなもん、なかったぞ」と答えが返ってくるなど、会場はいつまでも笑い声が絶えませんでした。

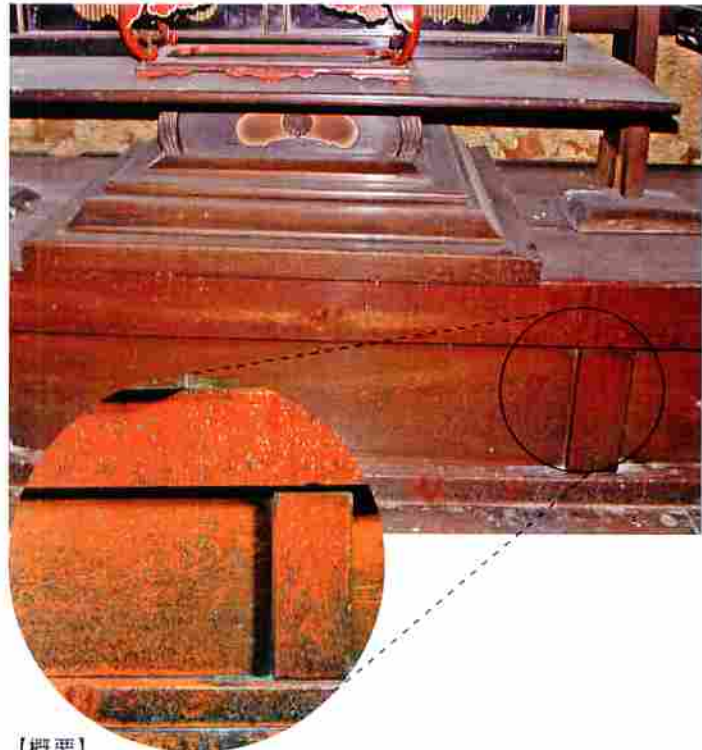
編集後記

あっという間に12月号を編集している自分に気付き、「今年ももう終わりか。早かったな」と実感。特集の「雪に備えよう」では、自宅の雪囲いが間に合わず、屋根雪下ろしも遅かったため、屋根のはけらが折れた昨冬の“わが家の事件”を思い出しながら、自分に警鐘を鳴らす意味も込めて掲載しました。「平成18年豪雪」は12月5日未明から降り出し、そのまま根雪に。この号が各家庭に配られるまでには、自宅の雪囲いと除雪道具・ガス管の点検は終わっておかなければと決意（林）

いづみ探訪



このコーナーでは、和泉地区の観光スポットや、名所・旧跡などを紹介します。



投げ賽銭跡のある壇縁及び内陣（角野前坂道場）

【概要】

角野前坂道場のお堂と仏間に小さな傷あとが無数に見られます。これは「投げ賽銭」と呼ばれる全国でも穴馬地方だけに見られる風習で、賽銭を投げた傷あとが残ったものです。特に賽銭箱がなく、お経を読むときだけ力を込めて投げる風習は角野前坂独特のもので、そのおびただしい傷あとは長年にわたってできたものです。文化財としても民俗学的にも貴重な名残です。

「投げ賽銭跡のある壇縁及び内陣」は昭和56年に旧和泉村の文化財に指定され合併後、市に引き継がれました。



激動の一年という言葉があるが、今年のは激動という言葉が当てはまるのではないが。十八年豪雪で始まった異常気象は

各地で水害・洪水・土砂崩れをもたらした▼無残にも折れた庭木の後始末に追われた春。例年より夕立が少なく、その上暑い夜が続いた夏。クマが民家の近くまでやってきて被害が続出し、クマ出没対策本部が設置された秋など▼北朝鮮のテポドン発射から核実験実施へ。小泉政権から美しい国づくりを掲げた安倍政権へ▼天谷市政から市民の生命と財産を守る大野元氣プランの岡田市政へ移行。「元氣なまち大野」の実現に向けた取り組みが期待される。社会教育と学校教育との融合施設「学びの里「めいりん」」が稼動した。市民の「集い・遊び・学びあう」拠点として有効活用されるだろう▼平成の大合併は一段落したが、年賀状を書き始めて、はたと困った。越前市？越前町？南越前町？県内の合併の市町村なのにどうなったか即座に思い出せない。全国の地名となるとチンプンカンプンである。合併を機に○が丘とか、××台としゃれた町名に変わったところもある。旧市町村名だが郵便番号だけはきちんと調べて書けば届くだろうと筆を持った。年賀状はこのような地名や住所でさえも世の動きや知人の近況を語りかけてくれる。来年は良き年になることを願って「激動の年から躍動の年になることを期待して」と年賀状に書き添えた（安田）